

日本の木工技術を世界へ

ガーナ共和国の経営視察団が日本の木工場を訪問 (株)山二建具で生産現場の「5S」を学ぶ



（株）山二建具を訪問したガーナの視察団



二村社長と藪崎会長が解説

ガーナ共和国の経営視察団が9月27日、木工所の視察研修として(株)山二建具(千葉県松戸市、二村淳彦社長)を訪問。オーダーメイドによる木製品の生産現場を視察し、日本の木工品の生産技術と品質について学んだ。

この研修視察は独立行政法人国際協力機構(以下、JICA)が企画する「ガーナ国・国家カイゼンプロジェクト」の一環として行われたもの。ガーナ共和国は2010年に中所得国入りを果たして以降、堅調な経済成長を続けており、2011年

にはGDP成長率15%を達成。以降も8%前後の高い成長率を継続している。その一方、製造業は伸び悩んでおり、製造業のGDP比は2013年の段階で5・8%に留まっている。2003年のガーナ国製造業セクターによると、ガーナ国内の製造業は99・5%が中小零細企業であり、就労者の66%が中小零細企業に属している。同国の製造業の発展阻害要素は企業間のリンクの弱さであり、下請け構造や素材調達との未発達、素材産業と加工産業の連携によるバリエーションの不在などが

原因で原材料を輸入に頼らざるを得ない状態にある。このために生産コストが押し上げられ、製造業が発展できないでいる。また、中小零細企業が大多数であるため、人的資源や経営資源の不足も顕著であり、十分な生産技術に起因する低品質と生産性の悪さも改善すべき課題となっている。

こうした現状から、ガーナ政府はJICA支援の下で技術協力プロジェクト「小零細企業向けビジネス開発サービス強化による品質・生産性向上プロジェクト」を実施。ガーナ国内の製造業の業務改善に結びつけるべく、日本の中小企業の中で最先端の技術を有する企業の生産手法や企業理念をガーナから派遣された研修生が学習。その企業から学んだ企業としての考え方や生産方法をガーナ国内の製造業者に還元するため、視察研修が行われた。複数の職種の中、木工の分野では(株)山二建具が指導企業を担当。木工場における5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)について教授した。

ガーナからの研修生は10名。彼らはガーナ国内におけるコンサルタントの候補者であり、全員が国家公務